

琵琶湖水草たい肥モニター報告書 集計結果(H27年度)

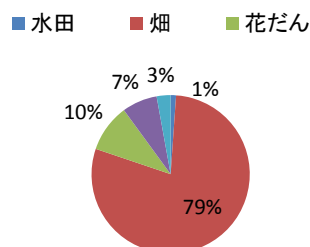
*平成27年度から配布した水草たい肥についてのモニター報告書の集計結果(H27.4.1~H28.3.31、238名)

【たい肥の利用状況】

Q1 たい肥はどこで使用されましたか	H26	H27	増減
1 水田	2.5%	1.1%	-1.4%
2 畑	79.2%	79.0%	-0.2%
3 花だん	8.4%	9.8%	1.4%
4 ブランター	8.0%	7.2%	-0.8%
5 その他	1.9%	2.8%	0.9%

畑での利用が約80%を占める。

たい肥の使用場所

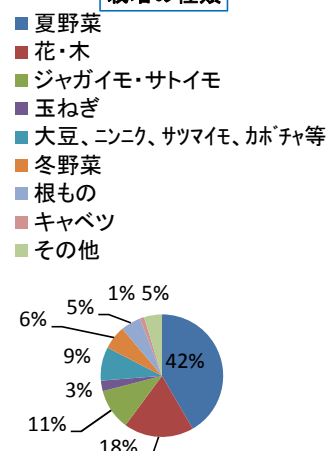


【栽培状況】

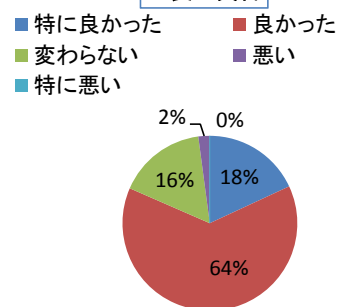
Q2 何を栽培しましたか	H26	H27	増減
1 夏野菜	38.2%	41.6%	3.4%
2 花・木	12.9%	18.5%	5.6%
3 ジャガイモ・サトイモ	11.3%	10.8%	-0.5%
4 玉ねぎ	4.5%	2.8%	-1.6%
5 大豆、ニンニク、サツマイモ、カボチャ等	6.4%	8.9%	2.5%
6 冬野菜	8.5%	6.2%	-2.2%
7 根もの	9.1%	5.3%	-3.8%
8 キャベツ	1.2%	1.1%	-0.1%
9 その他	8.0%	4.7%	-3.3%

配布時期(H27.2~3月)の関係で、多くは「夏野菜」に利用されたようである。

栽培の種類



生長の具合

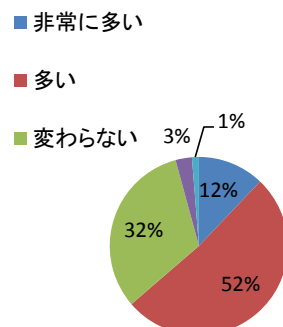


「特に良かった」「良かった」が81%、通常の肥料と「変わらない」を含めると97%であり、生長については良好であると思われる。

Q4 収穫量はどうか	H26	H27	増減
1 非常に多い	10.9%	11.9%	1.0%
2 多い	56.5%	50.8%	-5.6%
3 変わらない	28.4%	31.7%	3.3%
4 少ない	3.0%	2.9%	-0.1%
5 非常に少ない	1.0%	1.2%	0.2%

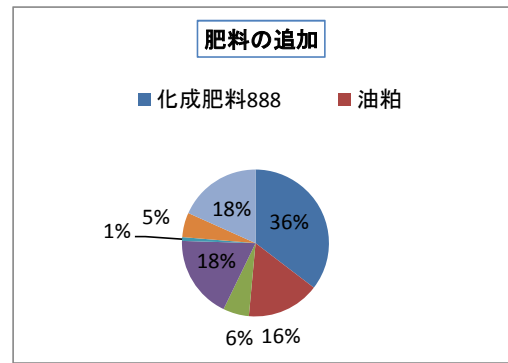
「非常に多い」「多い」が63%、通常の肥料と「変わらない」を含めると94%であり、収穫量については良好であると思われる。

野菜の収穫量



Q5 途中で肥料を追加しましたか	H26	H27	増減
1 追加した	65.5%	95.4%	29.9%
(何を) 化成肥料888	27.7%	35.4%	7.7%
油粕	10.2%	16.0%	5.8%
牛糞	2.6%	5.7%	3.1%
鶏糞	10.7%	18.3%	7.6%
灰	0.5%	0.9%	0.4%
有機肥料	2.0%	5.4%	3.4%
その他	11.9%	18.3%	6.4%
(いつ) 一番果時	2.0%	0.0%	-2.0%
生育途中	40.6%	64.3%	23.7%
植付時	5.6%	12.6%	7.0%
2 追加なし	34.3%	47.4%	13.1%

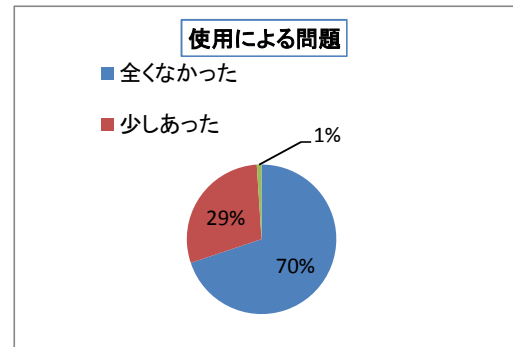
H26年度に比べ、大半の方が追肥されるようになり、土壌改良材として認識されて利用されるようになってきたと思われる。



【使い勝手】

Q6 たい肥の使用によって問題はありましたか	H26	H27	増減
1 全くなかった	77.7%	69.9%	-7.8%
2 少しあった	22.3%	29.1%	6.7%
3 ものすごくあった	0.0%	1.0%	1.0%

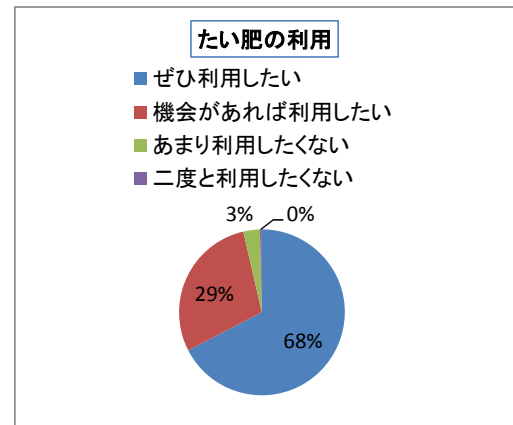
ゴミによるたい肥使用への影響は、ほとんどの方が大きな問題はないとしているが、ゴミ除去は大きな課題である。



【感想】

Q7 また利用したいですか	H26	H27	増減
1 ぜひ利用したい	70.1%	67.5%	-2.7%
2 機会があれば利用したい	29.1%	29.0%	-0.1%
3 あまり利用したくない	0.8%	3.2%	2.4%
4 二度と利用したくない	0.0%	0.4%	0.4%

ほとんどの方(97%)がまた利用したいという回答であり、水草たい肥に目に見えた効果あることが窺える。



Q8 その他

※ 朱書きは、多かった意見です。

- ① 自然界に放置しても分解されないビニール、プラスチック類、紙類を自然界にもれでないような運動をするべき時期にきていると思う。このままでは海も山も農地もゴミだらけになる。
- ② 連鎖障害を防ぐ効果も期待できる。
- ③ 米ぬかぼかしとの相乗効果がよいように思います。
- ④ 2月頃と8月上旬頃、春と秋野菜の土作りに活用できれば幸いです。
- ⑤ 今年度で3回目の利用となるが、年々畑が肥えてきているように感じる。特に実のなるものに効果がありそうである。
- ⑥ 砂地畑の土地に有効、水草たい肥が保水性向上効果が大きい。
- ⑦ 土中の湿度が保持できる日数が長くなったのかと感ずる場合もあり、繰り返し同一野菜に毎年施肥しなければ1~2回ぐらいでは結果はでないと思いい次年度も土の改良を含め続けてやってみたい。
- ⑧ たい肥利用で土が柔らかくなり、水の吸収率が良いので根菜類はほとんど水やりをしなかった。
- ⑨ 多量に水草たい肥がもらえれば、畑全部入れることができるので試してみたい。